

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について

【資料 1 枚目表紙】

これからの予測困難な時代を生きる子どもたちには、知識だけでなく、多様な人々と協力し、主体的に課題を解決していく力が求められています。

こうした力を育むためには、学校の教員だけの力では限界があります。保護者の方や地域の方々の持つ知恵や経験、そして温かい眼差しを学校教育に活かしていくことが、重要になります。それをスムーズにするための新しい仕組みが、「コミュニティ・スクール」です。洲本市では令和 8 年度より全校をコミュニティ・スクール化します。（すでに先行実施をしている学校もあります）

【資料 2 枚目】

では、「コミュニティ・スクール」の基本的な仕組みについてご説明します。

これまでも、学校活動に協力して頂いていましたが、コミュニティ・スクールは、学校の運営そのものに、地域の方々の声を正式に反映させるための、法律に基づいた「学校運営協議会」を設置した学校であるという点が大きなポイントです。

この仕組みの最大のねらいは、「学校と地域が共通の目標（ビジョン）を持ち、手を取り合って、子どもたちの豊かな成長と『地域とともにある学校づくり』を主体的に進めていくこと」にあります。

つまり、学校が一方的に運営方針を決めるのではなく、保護者や地域の皆さんと目標を共有し、その達成に向けて一緒に汗を流すパートナーになる、ということです。

【資料 3 枚目】

3. 学校運営協議会の 3 つの重要な役割

次に、学校運営協議会が持つ 3 つの役割についてご説明します。これらの役割を知っていただくことで、地域の方が学校運営にどのように関われるのか分かっていただけるはずです。

・ 役割 1：学校の基本方針を承認する

校長先生が作成する「今年はこんな学校にしたい」「こんな子どもを育てたい」という学校運営の基本方針に対して、地域を代表して、その方針に「いいね！」と賛同し、学校と共にその目標を支える役割です。

・ 役割 2：学校運営について意見を述べる

例えば、「もっと地域の伝統文化を授業に取り入れてはどうか」「あの企業の専門家をゲストティーチャーに呼べないか」といった、地域の視点だからこそ気づけるアイデアや提案をし、学校をより良くしていくことができます。

・ 役割 3：地域からの支援を調整する

学校が「こんな活動をしたいけれど、人手が足りない」「専門的な知識を持つ人に手伝ってほしい」といったニーズを持っている場合に、協議会が話し合い、具体的な協力体制を築きます。

まさに、学校と地域をつなぐ「橋渡し役」として、効果的な支援を実現します。

このように、「方針を承認し（役割 1）、運営に意見を述べ（役割 2）、具体的な支援を調整する（役割 3）」という一連の流れを通じて、地域が学校運営の本当の意味でのパートナーとなるのです。

ただ、学校運営の最終的な責任は校長先生にあります。協議会は、専門的な話し合いを通じて、校長先生的意思決定を支える心強いパートナーなのです。

【資料 4 枚目】

4. 成功の鍵：「車の両輪」で活動を推進する

コミュニティ・スクールが、子どもたちの成長に繋がるダイナミックな活動となるためには、非常に大切な考え方があります。

・ A. 熟議（話し合い）の充実：

「話合う」ことが一つめです。委員一人ひとりが当事者意識を持って学校を良くしていく、中身の濃い話し合いを目指します。

・ B. 一体的な推進：

そして二つ目が、協力体制の構築です。共有された目標を実行するための体制をつくっていきます。

この「話し合い」と「実行」という 2 つを連動させることで、学校には素晴らしい変化が生まれます。

【資料 5 枚目】

5. 導入によって期待される 5 つの具体的な効果

コミュニティ・スクールという仕組みは、子どもたちの学びの質の向上、先生方の多忙化、地域との繋がり希薄化といった、私たちが日頃から感じている課題に対する、具体的に効果的な取組なのです。次に、期待される 5 つの効果をご紹介します。

1. 子どもたちの学びが豊かになります
2. 私たちの学校ならではの魅力が生まれます
3. 先生方の負担を軽減し、教育の質を高めます
4. 「みんなの学校」という意識が高まります
5. 地域で子どもを支える人の輪が広がります

いかがでしょうか。コミュニティ・スクールを実現するためには、地域の方のご協力が不可欠です。では、具体的にどのように関わることができるのでしょうか。

【資料 6 枚目】

6. あなたの参加が学校と地域を強くする！

改めて、コミュニティ・スクールが目指す最終目標は、「すべての児童生徒の豊かな成長」です。この目標を達成するために、皆さんの力を少しだけ学校に貸していただけませんか。参加の方法は、決して一つではありません。

- 学校運営協議会の**委員として参加する**（ご自身の保護者としての視点や、社会人としての経験、地域への想いを、学校運営に直接活かしていただく方法です。学校の方向性を決める議論に、ぜひあなたの声を届けてください。）
- 地域学校協働活動に**ボランティアとして参加する**（「会議は苦手だけど、体を動かすのは好き」という方も大歓迎です。例えば、ご自身の得意分野を活かした「ゲストティーチャー」、子どもたちの安全を守る「登下校の見守り」、あるいは「部活動支援」など、様々な活動があります。ご自身の時間や関心に合わせて、気軽に参加できることから始めてみませんか。）

「私たちの大切な子どもたちのために、学校づくりへのご理解とご協力をお願いいたします！」